

令和 3 年度（令和 2 年度活動分）

教育委員会の点検・評価報告書

川内村教育委員会

令和 3 年 8 月

1、教育委員会の点検・評価について

(1) 制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任の果たすため、同法第26条によって、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、点検・評価を行うこととし、その結果については、報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければなりません。

(2) 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について、点検・評価の客観性を確保するもので、活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関して学識経験を有する者の意見を徴する機会を設けることなどが必要となります。

なお、教育に関し学識経験を有する者については、必ずしも専門家というものではなく、客観的な評価としての教育に関し公平な意見を述べることができる者であることが求められます。

2. 点検評価の実施方法

川内村教育委員会点検・評価委員会設置要綱に基づき、以下の通り実施します。

(1) 目 的

効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

(2) 実施方法

ア. 点検・評価の対象は、毎年度策定する「重点施策」とします。

重点施策に関する事務事業について、点検評価シートを作成します。

点検評価においては、当該年度の施策・事業を検証し、課題や今後の方向性などを表します。

イ. 点検評価委員に対し、重点事業の評価内容を担当者から説明し、委員より意見を求めることとします。

ウ. 点検評価委員からの意見に基づき点検・評価報告書をまとめ、教育委員会へ審議事項として提出します。

点検・評価委員

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	仲井康通	うつくしまふくしま未来支援センター 相双地域支援サテライト長
委員長職務代理者	秋元洋子	法務省 人権擁護委員
委 員	横田律恵	川内村 民生委員

点検評価の経緯

年 月	会 議 等	内 容
令和３年６月～７月	事務事業評価	各係において事務事業評価を行い、評価シートを作成する
令和３年７月２８日	第１回評価委員会	各事務事業の説明 委員からの質問・意見の聴取
令和３年８月２日～１６日	稟 議	委員から質問・意見の提示 評価書の取りまとめ
令和３年８月２５日	教育委員会定例会	点検評価書の報告等
令和３年８月	議 会	点検評価書類を議会提出
令和３年９月	ホームページ公開	点検評価書類

報告事項について

1. 教育委員会の活動状況

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

- (1) 教育委員会の定数
- (2) 教育委員の研修会参加状況
- (3) 教育委員会の会議の開催状況
- (4) 教育委員会の会議の公開状況
- (5) 議案の審議状況
- (6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況
- (7) 情報の提供状況
- (8) 教育委員会事務局等の体制
- (9) 生涯学習講座実績

2. 点検・評価の結果

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

川内村教育委員会重点施策

- 1. 教育行政の推進
- 2. 就学前保育・教育の充実
- 3. 学校教育の充実
- 4. 生涯学習の推進
- 5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成
- 6. 芸術文化活動の推進
- 7. 地域・家庭等連携
- 8. 生涯スポーツの推進

令和３年度報告書内容(令和２年度活動分)

教育委員会の活動状況

１）教育委員会の定数

単位：人

人数	性別		40代		50代		60代		70代	
5 (2)	男 4 (1)	女 1 (1)	男 1 (1)	女 0 (0)	男 0 (0)	女 1 (1)	男 2 (0)	女 0 (0)	男 1 (0)	女 0 (0)

※（ ）は内数で、保護者である委員

２）教育委員の研修参加状況

主催別	全国	東北六県	県	浜通り
教育委員	0	0	0	0
教育長	0	0	1	0

３）教育委員会の会議の開催状況

	定例会	臨時会
開催回数	12回	1回

４）教育委員会の会議の公開状況

傍聴者数	0 人
傍聴者が1人以上の会議の回数	0 回

５）議案の審議状況

開催月	開催形式	議案等番号	件 名
4月	定例会	議案第12号	平成2年度川内村奨学資金の奨学生決定に係る承認について
		議案第13号	川内村立川内小中学園の校章決定に係る承認について
5月	定例会	議案第14号	専決処分の承認を求めることについて（補正予算）
6月	定例会	議案第15号	専決処分の承認を求めることについて（補正予算）
		議案第16号	専決処分の承認を求めることについて（工事請負契約締結）
		議案第17号	専決処分の承認を求めることについて（工事請負契約締結）
		議案第18号	専決処分の承認を求めることについて（物品購入契約締結）
		議案第19号	川内村教員委員会点検評価委員会委員の委嘱について
7月	定例会	議案第20号	就学援助費の支給児童生徒の承認について
		議案第21号	令和3年度使用小学校教科用図書の採択について
		議案第22号	令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
		議案第23号	令和3年度使用学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について

開催月	開催形式	議案等番号	件 名
8月	定例会	議案第 24 号	令和元年度川内村教育委員会自己点検評価について
9月	定例会	議案第 25 号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度決算書）
		議案第 26 号	専決処分の承認を求めることについて（補正予算）
		議案第 27 号	専決処分の承認を求めることについて（条例制定）
10月	定例会	議案第 28 号	専決処分の承認を求めることについて（補正予算）
		議案第 29 号	専決処分の承認を求めることについて（工事請負契約締結）
		議案第 30 号	専決処分の承認を求めることについて（工事請負契約締結）
11月	定例会	議案第 31 号	就学援助費の支給決定について
12月	定例会	議案第 32 号	専決処分の承認を求めることについて（予算補正）
		議案第 33 号	専決処分の承認を求めることについて（条例改正）
		議案第 34 号	専決処分の承認を求めることについて（条例制定）
		議案第 35 号	専決処分の承認を求めることについて（物品購入契約締結）
		議案第 36 号	専決処分の承認を求めることについて（物品購入契約締結）
		議案第 37 号	専決処分の承認を求めることについて（物品購入契約締結）
1月	定例会	議案第 1 号	令和 3 年度 川内小中学園の新入生及び就学児童生徒への通知について
		議案第 2 号	認定こども園かわうち保育園の幼保連携型への変更について
2月	定例会	議案第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（予算補正）
		議案第 4 号	川内村村民テニスコート条例の制定について
		議案第 5 号	認定こども園設置条例の一部改正について
		議案第 6 号	かわうち興学塾の利用に係る使用料条例の一部改正について
		議案第 7 号	令和 3 年度川内村教育委員会基本方針の策定について
		議案第 8 号	令和 3 年川内村教育委員会重点施策の策定について
3月	臨時会	議案第 9 号	教職員異動に伴う内申について
		議案第 10 号	川内村放課後児童クラブ設置条例施行規則の制定について
		議案第 11 号	川内村放課後子ども教室実施要綱の全部改正について
		議案第 12 号	川内村放課後子ども総合プラン要綱の制定について
		議案第 13 号	川内村地域協働本部設置要綱の一部改正について
		議案第 14 号	川内村放課後子ども教室運営委員会設置要綱の廃止について
		議案第 15 号	阿武隈民芸館処務規定の廃止について
3月	定例会	議案第 16 号	専決事項の承認について（予算補正）
		議案第 17 号	専決事項の承認について（令和3年度当初予算）
		議案第 18 号	川内村立義務教育学校の管理に関する規則の制定について

開催月	開催形式	議案等番号	件 名
3 月	定例会	議案第 19 号	令和 3 年教職員人事異動に伴う承認について
		議案第 20 号	令和 3 年教育委員会事務局職員人事異動に伴う承認について

6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況

施設名	かわうち保育園	川内小学校	川内中学校	草野心平記念館
実施日	保育参観 11 月 新設保育園舎建設 現場確認 11 月	授業参観 11 月 改築校舎現場確認 11 月	授業参観 11 月 新築校舎現場確認 11 月	実施なし

※定例会開催日に合わせて訪問を実施

※訪問内容

- (1) 教育長による教職員への訓示 (2) 保育参観、授業参観 (3) 施設の管理状況視察
(4) 所属長との懇談

7) 情報提供の状況

月	提 供 媒 体
5月発行	3 月 12 日開催、川内小学校卒業式（7 名の卒業者） 3 月 13 日開催、川内中学校卒業式（5 名の卒業者） 3 月 19 日開催、かわうち保育園お別れ会 3 月 28 日開催、かわうち保育園卒園式（10 名の卒園児） 4 月 4 日開催、かわうち保育園入園式（38 名の全園児） 4 月 6 日開催、川内小学校（11 名入学）・川内中学校合同入学式（7 名入学） 令和 2 年度 教育委員会(保育士含む)、小学校、中学校人事異動による職員紹介 川内小中学校・保育園合同大運動会延期のお知らせ（5/23 から 10/10 へ） 川内村スポーツ推進委員委嘱状交付（令和 2 年度から 2 年間） 川内村地域学校協働活動推進員への委嘱状交付 第 12 回川内村村民ゴルフ大会延期について（5/16 から時期未定） 令和 2 年度教育委員会関係当初予算について 児童学習支援制度による奨学金貸与者の募集について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（新型コロナウイルス感染症対策など） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
6月発行	第 55 回天山祭り開催中止のお知らせ（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため） 川内村社会教育委員委嘱状交付（令和 2 年度から 2 年間） かわうち保育園の活動について 天山文庫だより 児童手当支給対象者への現況届け出について もりたろうプールの教室利用等の案内（運動不足解消など）

	川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
7月発行	新型コロナウィルス感染症により、各種行事が中止等となる。 （例年の掲載行事等 村民ゴルフ大会の開催報告、川内中学校・川内小学校・かわうち保育園合同運動会、 川内小学校 3・4 年生の田植え体験、夏季野球大会参加チーム募集、天山祭り開催、 中央学級活動等） 8月 15 日開催、令和 2 年度成人式の開催案内について かわうち保育園の活動について 新型コロナウィルス感染症等による経済的な影響を受けている学生等への支援制度について 令和 2 年度会計年度任用職員（保育士）の募集について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（熱中症対策など） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
8月発行	第 73 回夏季野球大会の中止について かわうち保育園の活動について（春の遠足、七夕会など） 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（夏祭りの開催など） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
9月発行	かわうち保育園の活動について（夏祭り、野菜の収穫など） 10 月 10 日開催、川内小・中学校及び保育園合同運動会の開催について 第 14 回市町村対抗福島県軟式野球大会への出場案内について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（エアボクササイズ教室開講など） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
10月発行	令和 2 年度川内村成人式の開催内容について かわうち保育園の活動について（プール遊びなど） 第 14 回市町村対抗福島県軟式野球大会への出場結果について 公民館活動(太極拳教室参加)の案内について 10 月 31 日開催、川内小学校「学習発表会」及び川内中学校「清流祭」の案内 11 月 7 日開催、第 12 回川内村村民ゴルフ大会の開催案内について 放課後子ども教室安全管理員の募集について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（ハロウィンイベントなど） 義務教育学校「川内小中学園」の開校教育方針の周知
11月発行	11 月 17 日開催、第 32 回ふくしま駅伝出場選手(川内村代表選手)紹介 川内小学校活動レポート（高田島ヴィンヤードぶどう収穫・稲刈り）

	かわうち保育園の活動について（秋の遠足など） 義務教育学校川内小中学園「校章」デザイン決定の報告について 令和３年度かわうち保育園「入園児」募集について 令和３年度川内村職員（保育士）採用候補者試験の案内について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（クリスマスイベントなど） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
12月発行	10月10日開催の保育園・小学校・中学校合同運動会の中止について 10月31日開催、川内中学校清流祭・川内小学校学習発表会の開催報告 かわうち保育園保育の活動について（ハロウィーンパーティー） かわうち保育園幼年消防クラブ「防火パレード」の実施報告 11月3日開催、川内野球スポーツ少年団活動の報告について 11月7日開催、川内村村民ゴルフ大会の実施報告について 11月9日開催、川内優輝選手と川内小中学生とのランニング教室の実施報告 放課後子ども教室安全管理員の募集について 川内小学校活動レポート（スポーツフェスティバルの開催） 令和元年度教育委員会関係一般会計決算状況の報告について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
1月発行	11月15日開催、第32回ふくしま駅伝大会 希望ふくしまチーム(村代表選手)結果報告 11月28日開催、かわうち保育園ミニ発表会(保育参観)報告 12月5日開催、川内野球スポーツ少年団活動報告 2月28日開催、第17回健康づくりソフトバレーボール大会参加チーム募集 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（新年イベントなど） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
2月発行	川内村教育委員会教育委員の就任報告について 12月24日開催、かわうち保育園クリスマス会の実施報告 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（水中ウォーキング教室など） 川内村奨学資金貸与制度の案内について 令和３年度会計年度職員(地域文化伝承教室補助員・公共施設等管理業務員)の募集 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）

3月発行	1月26日開催、下川内「地藏院多寶寺」にて文化財防火デー防火訓練実施報告 1月15日開催、かわうち保育園「リトミック教室」の実施 2月2日開催、かわうち保育園「節分豆まき」の実施 2月5日開催、かわうち保育園「ふれあい消防」の実施活動報告 2月10日開催、かわうち保育園「いちご狩り」の実施報告 令和3年度から「かわうち保育園」の新園舎移転のお知らせ 川内小・中学校の閉校式及び義務教育学校川内小中学園の開校式の開催案内 東京2020オリンピック聖火リレーの実施について 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（各種教室開催） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
4月発行	令和3年度開設、義務教育学校川内小中学園・幼保連携型認定こども園かわうち保育園について 3月3日開催、かわうち保育園「ひなまつり」実施報告 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内（無料レッスンなど） 教職員人事異動のお知らせ 2021年度川内村年間行事予定表の公表（教育委員会関係） 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）

8) 教育委員会事務局等の体制（※県費負担教諭等を除く）

職 員 数		常 勤	臨 時	
			嘱 託	通 年
教 育 課		16	4	1
内 訳	課 長	1	0	0
	教育総務係	3	0	0
	生涯学習係	2	0	1
	かわうち保育園	8	2	0
	川内小学校	1	1	0
	川内中学校	1	1	0

9) 生涯学習講座実績

中央学級・・・新型コロナウイルス感染症対策により人の移動密集を避けるため未実施

その他教室及び講座（生涯スポーツ活動含む）

実 施 日	講 座 名	場 所
11月7日	村民交流健康づくり 村民ゴルフ大会(50名参加)	須賀川市

令和2年度 川内村教育委員会重点施策に関する事務事業評価一覧

番号	重点施策名	事務事業	評価	評価担当係
1	教育行政の推進	効果的な教育行政の推進	3	教育総務係
		教育予算の確保と執行の適正化	4	教育総務係
		教育施設・設備の整備充実	4	教育総務係
		教育備品の充実	4	教育総務係
2	就学前保育・教育の充実	保育・教育の充実	3	かわうち保育園
3	学校教育の充実	教育内容・方法の充実	3	教育総務係
		変化に対応した教育を充実	3	教育総務係
		児童・生徒指導の充実	3	教育総務係
		教職員の確保と資質の向上	3	教育総務係
		特別支援教育の充実	3	教育総務係
4	生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実	2	生涯学習係
		生涯学習の普及啓発	2	生涯学習係
		生涯学習機会の拡充	2	生涯学習係
5	社会教育の推進と健全な青少年の育成	社会教育活動の充実	3	生涯学習係
		社会教育推進体制の充実	3	生涯学習係
		社会教育施設の整備	3	生涯学習係
		家庭教育の充実	3	生涯学習係
6	芸術文化活動の推進	芸術文化活動の促進	2	生涯学習係
		郷土芸能、文化伝承活動の推進	3	生涯学習係
7	地域・家庭等連携	地域・家庭等連携	3	生涯学習係
8	生涯スポーツの推進	スポーツの振興	3	生涯学習係
		健康づくりの推進	2	生涯学習係
		小中学校特設スポーツクラブの推進	2	生涯学習係
計	総評価		3	

※評価 : 4 十分達成 3 ほぼ達成 2 やや不十分 1 不十分

令和 2 年度
川内村教育委員会事務事業

自己点検・評価シート

自己点検・評価シート

【1－(1)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
1 教育行政の推進		(1) 効果的な教育行政の推進	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価	
○総合教育会議の運営	☆定例会（年1回） ☆臨時会（随時）	4・3・②・1	
○教育委員会会議の運営	☆定例会（月1回） ☆臨時会（随時） ☆村内保小中学校訪問 ☆研修視察	4・③・2・1	
○教育機関相互の連携・協力	☆教育事務所指導訪問 ☆教育事務所管理訪問 ☆村内校長・教頭会（月1回） ☆村内小中教頭会議（随時） ☆村内小中事務担当者会議（随時） ☆社会教育委員との情報共有（随時）	④・3・2・1	
○他町村との協力	☆双葉地区教育長会 ☆福島県教育委員会連絡協議会 ☆双葉郡教育復興ビジョン推進協議会	④・3・2・1	
○教育特区	☆学校審査会の開催 ☆認可校への指導・助言	④・3・2・1	
総 合 評 価			4・3・2・1
成 果 と 課 題	平成 28 年度より総合教育会議を設置し、村長と教育委員における教育委員会運営における環境整備や予算措置などについて協議を実施しております。 教育委員会の運営については、毎月の定例会と必要に応じ臨時会を開催しております。令和 2 年度の学校運営においては、義務教育学校整備のため川内中学校校舎にて小・中学生の教育活動を実施しました。 教育施設への訪問活動では、中学校校舎にて小・中学校の学校運営を、保育活動については、かわうち保育園を視察する。更に建設中の新設校舎・園舎の視察を行っております。 教育事務所の訪問を受けて、教育現場の指導体制や学校運営等の改善を図るとともに、定期的に学校管理職との打ち合わせを行い、助言指導を行った。 他町村との教育活動における連携協力については、県内及び域内の教育長会議が随時開催され情報交換を行っている。併せて震災後から双葉郡教育復興ビジョン推進協議会も開催され、域内学校連携や運営に関しての意見交換を行っている。 教育特区認可校である株式会社立大智学園高校については、学校審議会を開催し、学校の経営評価や新設校舎建設等の早期対策を施すよう指示を行っている。 また、例年実施していた村内での教育活動や村内での水稻の作付け・収穫等の体験活動については、コロナ禍により実施出来ない状況となった。		3

【1－(2)】

重点施策名		事務事業	
1 教育行政の推進		(2) 教育予算の確保と執行の適正化	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○教育予算の確保		☆教育施設・設備・備品の現状把握と教育予算の確保	④・③・②・①
総合評価			④・③・②・①
成果と課題	予算計上に当たっては、学校側との協議を重ね実情を把握し、より効果的な予算編成に心掛けた。併せて教育環境の整備に向けたハード事業のため、適宜、必要な予算確保に努めた。同時に教育体制の見直しや成長期に応じた児童生徒の心身ケアでのソフト面での事業にも取り組んだ。 令和元年度から継続して進めている義務教育学校の施設整備に向けた予算の確保と適正な予算執行に努めた。 令和3年度からの新たな義務教育課程を見据えた予算措置を施すため、学校側との協議の場を早期に設け予算の調整計上を行った。		4

【1－(3)】

重点施策名		事務事業	
1 教育行政の推進		(3) 教育施設、設備の整備充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○教育環境等の整備充実		☆義務教育学校と認定こども園の整備、教育施設の集約化と複合化 ☆各種備品購入及び教育環境の整備促進	④・③・②・①
○校舎等の建設及び改修工事		☆義務教育学校校舎の建設及び改修工事施工	④・③・②・①
○教育施設の保守、管理委託		☆学校、プール等保守、管理等の専門業者への委託	④・③・②・①
○工事に係る事故防止の徹底		☆諸工事に伴う事故防止	④・③・②・①
総合評価			④・③・②・①
成果と課題	令和2年度の学校運営は、中学校校舎にて小・中学校の教育活動を行ったため、必要な対策については、特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、各種装備品の設置購入など学校からの報告・要望を受け、迅速な対応を行った。 学校設備に係る保守管理面では、年度当初又は適宜に事業者を選定し委託契約等を締結し適正管理を行った。 併せて令和3年度に開校する義務教育学校を整備するための大規模な校舎建築・改築工事、体育館の耐震工事、新設園舎工事等を行い、計画通りの事業進捗を図るための管理業務を実施した。また、校舎建築等と合わせ外構工事やGIGAスクール構想に基づくICT機器の設置導入も手掛けるとともに、新設となる学校校舎での備品購入などと、例年には無い高額な予算確保と適正な予算執行に努めた。 さらに令和2年度末には中学校校舎から新設小中学園校舎への大規模な引っ越し作業も実施した。		4

【1－(4)】

重点施策名		事務事業	
1 教育行政の推進		(4) 教育備品の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価

成果と課題	○教育備品、管理備品の充実	☆備品の把握と予算の確保 ☆必要教材、学校図書購入 ☆ICT機器の導入促進	④・3・2・1
	総合評価		4・3・2・1
成果と課題	通常的な教材や備品等の購入に当たっては、小・中学校と緊密な連携により、出来るだけ適切な時期に導入できるよう事業執行を図るための予算確保や教育課程へ支障の出ないよう迅速な事務処理に努めた。 また、令和3年度からの義務教育学校の開校に向けたソフト・ハード面で必要となるシステム構築や各種教材品や校舎備品などの購入を行うなどと学校側との連携を図り、令和3年度からの教育環境整備に努めた。(GIGAスクール構想に基づくICT機器の設置導入を図る)		4

【2－（１）】

重点施策名		事務事業	
2 就学前保育・教育の充実		(1) 保育・幼児教育の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○認定こども園の機能強化		☆認定こども園建設 ☆幼保連携型こども園に変更 ☆幼児教育課程の編成	④・3・2・1
○保育教育指導の充実		☆豊かな感性を育む ☆思いやりの心を育む ☆就学前の基礎学習の指導	4・③・2・1
○社会性や基本的生活習慣の指導の充実		☆友達や仲間を大切にする心を育む ☆基本的生活習慣の指導	④・3・2・1
○小学校との連携		☆運動会、学習発表会に参加 ☆保育課程と小1教育課程の連携	4・③・2・1
総合評価			
成果と課題	保育を実施するにあたって、保育理念、保育目標などの基本的な方向を示した「保育課程」を定め実施している。また、クラスごとに年間計画、月別計画及び個別計画(3歳未満児)を策定し、園児一人ひとりの発育・発達に合わせ保育内容の充実に努めている。 課題としては、保護者の就労と子育ての両立等を支援するために、保護者の生活状況に配慮するとともに、常に園児の養育尊重を念頭におき、家庭との連携を密にし・子育てに協力していく必要がある。さらに、3歳未満児や0歳児の入園が増えており、安心して預けることができるゆとりある保育と教育の充実を図るために保育士配置基準を満たした余裕ある保育士の確保が必要となっている。 令和3年度から取組む幼保連携型保育園整備のため、小学校敷地内に新しい園舎建設を進めており、令和2年度の完成となっている。ハード面だけでなく、幼保連携型へ移行するために必要なソフト面での各種申請等の手続きも行った。これらのことにより、教育色が強まり学校との連携をより一層図ることで就学に備えた園児教育を図ることとした。 今年度も、園児が学校環境にふれ合う取組みとして合同運動会や学習発表会などを計画したが、コロナ禍や天候の影響もあり実施できない行事もあった。新型コロナウイルス感染症に対応するため、「新しい生活様式」を取り入れながらも希望保育の実施や園舎内の消毒・体温管理など保護者との連携を図り、感染防止の徹底に努めた。 保育園においても、令和3年度より新園舎への移動が必要となることから、引越し作業や新園舎で必要となる各種備品の調達などと例年には無い業務を行った。		3

重点施策名	事務事業	
3 学校教育の充実	(1) 教育内容・方法の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
①教育課程の改善充実 ・村の教育方針の明確化 ・教育課程の改善 ・重点目標を踏まえた教育課程の編成と実践 ・重点目標具現の筋道の明確化	☆教育基本計画の策定 ☆学習要領に基づく9年間の教育課程編成と幼児保育課程との連携 ☆指導の重点化 ☆教育目標から重点目標を焦点化し、実践、評価して具現に努める ☆小学校：自分で気づいたことを進んで表現し、学び続ける子供 ☆中学校：未来を意識し 今を切り拓くことができる生徒	④・3・2・1
②児童生徒の学力向上 ・少人数の特性を生かして基礎的、基本的事項と思考力、判断力、表現力の定着を図る ・児童生徒の実態を的確に把握し、適切な学習指導を推進 ・基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育成 ・民間を活用した学力向上の推進 ・外国語活動の強化 ・コミュニケーション力の向上	☆教材の精選、重点化を進める ☆学力テストを実施し指導方策を明らかにする ☆ICTを活用した学力向上 ☆実践の場の設定と指導の充実を図る ☆道徳的实践の習慣化を図る ☆かわうち興学塾の実施 ☆標準学力調査、漢検、英検、リーディングスキルテストの実施と評価 ☆保育園、小1から外国語活動実施 ☆国際交流事業の実施 ☆他地域との交流事業の実施	4・③・2・1
③道徳教育の充実 ・道徳的实践力を高揚	☆自主的、実践的な活動を援助し社会性を育てる	4・③・2・1
④特別活動の充実 ・自己実現能力の涵養と豊かな実践力	☆保健、安全、給食との関連を十分図り、計画的、継続的な体力作りを進める ☆キャリア教育の充実を図る	4・③・2・1
⑤体力、運動能力の向上 ・生涯スポーツ、競技スポーツを目指す体育の生活化	☆多種多様なスポーツ活動を推進 ☆中学校総合体育大会参加の支援	4・3・②・1
⑥学校保健、安全の充実 ・日常的な保健安全活動、事故の絶無	☆学校、家庭、地域の連携を密にして、自他の生命尊重を基にして、指導の徹底を期する	4・③・2・1
⑦学校給食の充実 ・おいしく、楽しい給食を提供	☆給食費の支援 ☆食材の放射能検査を徹底する ☆物資の安定供給に努め、施設設備の整備に努める	4・③・2・1

	☆家庭と地域との連携を図り、食生活の改善と健康管理に努める ☆給食委員会の開催（月1回） ☆学校、家庭、地域との連携で食育を推進 ☆地場産品導入の検討	
⑧教育機会の確保 ・低所得者への支援	☆川内村育英奨学資金の貸付 ☆各種就学支援の実施	④・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	○教育課程 小中学校の教育目標及び重点目標の具現を目指し、各領域においてそれぞれの実態を踏まえた具体的な目標、実践事項を設定した教育課程を編成し実践した。 教育課程においては、令和3年度からの9年制義務教育学校に対応するために必要となる新たな教育課程に対処するための編成活動も行った。 ○学力向上 英語教育にあってはALTを配置し、中学校だけではなく、小学校・保育園を巡回し、実態にあった指導を計画的に取り組んだ。小学生への英語の授業が導入されており、これらの面も考慮しながら英語力を上達させ、今後のグローバル社会に対応できる教育を施す取り組みを行った。外国語学力向上や異文化体験交流として計画していた海外研修交流派遣事業については、新型コロナウイルス感染症により中止となっている。 ICT 環境整備としては、本校に適した電子黒板やタブレットの導入を進めているが、国が進めるGIGA スクール構想に基づき、校舎内 Wi-Fi 通信整備及びパソコン・タブレット等の機器導入を検討し、新設する義務教育学校運営に適した機材等の導入を図れるよう取り組んだ。 学力向上のために村営塾「興学塾」を継続開催し、高校受験対策として外部テストをほぼ毎月実施し学力向上に繋げた。 一方で、家庭での携帯電話やタブレットの利用においては、ルールを守った使い方等を推進すべく学校での指導や家庭との連携により、適切な使用について継続的に指導していく必要がある。 ○体力、運動能力向上 少人数ながらも小中学校とともに特設陸上部等をおき、積極的な活動を継続的にを行っている。また、部活動においては、外部講師を呼び指導を受けるなど、技術の向上にもつなげている。 コロナ禍により、各種運動が制限され、各種大会も中止になるなど、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となった。 ○学校保健、安全の充実 インフルエンザの流行時には、教委・学校・保育園・保健福祉部門の4者間で連絡を密にし、流行状況を見ながら状況に応じた迅速な対策を講じている。 特に、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の世界的な発症により、全国一斉に発せられた「学校休業」措置により、令和2年4月にも小中学校を臨時休業し、児童生徒の安全確保に努めた。さらに休業期間中においても教員による児童生徒への学習指導や健康面を踏まえた日常生活等の指導を行った。 また、小中学校・保育園では、保健だより等により家庭における予防・対応等を喚起しながら、子どもや保護者の予防意識の高揚を図り、「新しい生活様式」を取り入れ感染防止や健康維持にも努めることができた。 特に学校校舎内をはじめ、児童生徒が接する箇所の消毒を徹底するなど新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。 ○学校給食 給食材料については放射性物質の検査を継続的に行ってきている。また、必要に応じ栄養教諭との給食委員会を開催し、成長の度合いに応じた給食内容や季節にあった給食メニューなどを取り入れ、食育の推進を積極的に行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を施し、中学校校舎にて小学生と中学生が合同で学校給食を行った。 学校給食費に関しては、保護者の負担軽減のため給食費の無料化を行っている。 ○教育機会の確保 コロナ禍等により所得が減少した方や低所得者の方々に対して、学費などの教育経費の負担が増した方への国や大学が取り組んでいる情報提供や村独自に取り組んでいる奨学資金制度の案内を行った。	3

【3－（２）】

重点施策名		事務事業	
3 学校教育の充実		(2) 変化に対応した教育体制の整備	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
① 組織体制の整備 ・教育環境の変化に対応する学校教育体制を整備	☆学校、地域、家庭の代表者による教育環境整備推進委員会の運営 ☆指導主事の配置	④・３・２・１	
②教育体制の整備 ・小中一貫教育の導入 ・コミュニティ・スクールの導入	☆小中を統合して義務教育学校設置 ☆学校運営協議会設置と試行	④・３・２・１ ４・３・２・１	
③人材育成の推進 ・グローバル人材育成 ・復興人材育成	☆海外研修交流派遣事業実施 ☆復興子ども教室、ふるさと創造学の実践	４・③・２・１	
・研修機会の強化	☆県、県教育センターへの計画的参加促進 ☆村教育研究会の再開と実践的活動推進 ☆先進地研修の実施	４・３・②・１	
総合評価		４・３・２・１	
成果と課題	福島県教育センター等での研修会への参加を積極的に進めており、教職員の知識や指導力の向上につなげている。加えて、教育委員会に指導主事を継続配置し、学校と教育委員会との連携強化を図ると共に、令和3年度より開校する9年制義務教育学校の学校運営面における勉強会などを行う。 新教育課程等の学校運営に関する必要な支援についても学校運営協議会を設置し協議を行っている。また、学校運営協議会では、学校運営に関する評価や地域識見者等との意見交換、子どもたちの在るべき姿を見出すべき協働の精神により、義務教育学校での教育課程を考慮し、より良い学校運営となるよう取り組みを進めた。 令和２年度は義務教育学校校舎の完成年度でもあり、学校校舎の新築・改修工事のほか、外構工事や体育館の耐震工事にも取り組み、学校施設全体の整備充実に努めた。 グローバル人材育成面での外国語学力向上や異文化体験交流として計画していた海外研修交流派遣事業が、新型コロナウイルス感染症により中止となった。また、復興子ども教室における長崎県への研修事業も中止となり、オンラインでの教室開催となった。ふるさと創造学についてもオンライン開催となっている。		3

【3－（３）】

重点施策名		事務事業	
3 学校教育の充実		(3) 児童、生徒指導の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
①児童、生徒指導体制の充実 ・全職員の共通理解に基づく生徒理解と実践 ・生徒一人ひとりの心情理解と自己実現への援助	☆各学校生徒指導に係る実践的活動の推進 ☆教育相談体制の確立 ☆教職員間で、児童生徒一人ひとりの観察情報の共有	④・３・２・１	
② 家庭、地域社会、関係機関との連携強化 ・家庭・地域社会・関係機関と連携しての健全育成	☆緊密な連携、相談体制の構築	４・③・２・１	

総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	児童生徒数が少ないことから、個々に応じた指導が進められている。 各家庭に対しては、学校活動などの情報を提供するために「学校、保健だより」等を定期的に発行した。また、児童生徒の成長過程に応じた対策を講じるため、村保健福祉課や福島県支援機関等との情報交換や指導を受けるなど、保護者への児童生徒個々の状況を踏まえた対応を図る。 今後は、個々のケースに応じた対応を図るため、専門的な知識を有する方の対応を含めた、相談内容の充実を図る必要がある。 学校と地域協働本部推進員との連携により、児童生徒に対し田植え体験や職場体験などと地域の人から技術を学ぶ機会を設け、地域社会への理解を深めている。	3

【3－（４）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
3 学校教育の充実		(4) 教職員の確保と資質の向上	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
① 教職員の確保 ・学校の実態に応じた適正な配置		☆県教育委員会との連携 ☆復興推進加配の要請	④・3・2・1
②教職員研修の充実 ・研修のねらい、内容の明確化して資質を向上		☆村教育研究会の再開 ☆研修支援	4・③・2・1
③教職員の働き方改革 ・在校時間管理の適正化 ・校務の見直し ・地域等外部からの支援要請		☆時間外勤務は2月平均で45時間以下 ☆週1回は定時退校日を設定 ☆長期休業日に空直日及び閉庁日を設定 ☆会議、行事等の精選、見直し ☆ICT機器の活用 ☆小中連携による教職員交流 ☆外部講師活用による校務の効率化推進	4・③・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1	
成 果 と 課 題	県教育委員会との連携のもと適正な教職員の数が確保できるよう取り組んでいる。復興推進加配による教員の配置もあり、本来であれば複式学級の編成であるが、単式学級で学ぶことができ、一学年一教室を継続し個々の状況に応じた指導ができています。 教職員への研修状況については、小中学校との連携を図り、指導力や知識を広めるため、各種研修会への参加を積極的に促している。 教職員の働き方改革を進めるため、月1回の学校との連絡会を設け、教職員の時間外勤務状況(実態)の確認、週一回のノー残業ディや長期休業時における空直日を設定し、できるだけ教員の勤務環境の改善につなげる取組みを進めた。 さらに校務の効率化や軽減を図るために福島県推奨の校務支援ソフトの導入を進め、令和3年度の義務教育学校の開校に向け備えた。また、令和2年度は中学校において小中学校の運営を行ったため例年にも増し教職員の交流が図られている。	3	

【3－（５）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
3 学校教育の充実		(5) 特別支援教育の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①就学支援計画と実践 ・障害に応じた指導計画、方法を確立 ・適正な就学指導と学習指導を推進		☆指導の個別化を図り、教材教具の活用を工夫する ☆地域社会の理解を得られるよう努める	4・③・2・1

総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	特別支援学級に該当する児童・生徒は在籍していないが、経過観察を必要とする児童・生徒のために、村独自の特別支援員の配置を図り、主に学習支援面における個々の状況に応じた指導を行った。 今後の成長過程に即した特別支援が必要となる児童生徒への対応が必要となることから、スクールカウンセラー等の面談も含めた対応も行った。	3

【4－（１）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
4 生涯学習の推進		（１）生涯学習推進体制の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○生涯学習推進本部を再生		☆生涯学習の推進	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、人の集まる生涯学習推進のための各種会議の開催ができず、生涯学習面での事業内容の充実が図られませんでした。 今後の課題としては、新型コロナウイルス感染症感染防止策を徹底し「新しい生活様式」を踏まえつつ、より充実した催しを施すための推進体制を整え、加えて運営する人材育成にも努めていかなければならない課題もある。		2

【4－（２）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
4 生涯学習の推進		（２）生涯学習の普及啓発	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○村民への広報		☆広報媒体活用して村民意識の高揚	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	村広報誌や各種イベントのパンフレット等を作成して必要に応じた広報啓発を行った。 新型コロナウイルス感染症予防対策を施し、村民要望や村の現況に応じた各種教室等の実施を検討し、開催に向け努力しなければならない。		2

【4－（３）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
4 生涯学習の推進		（３）生涯学習機会の拡充	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○各種講座の実施		☆各種講座の要望調査と実施	4・3・②・1
○学習、体験等の指導者育成		☆小さな名人の掘り起こし	4・3・②・1

総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	教育委員会が主催する各種講座の開催については、コロナ禍の状況もあり講座内容や開催時期、参加人数を増やすことは出来なかったが、各種団体が行う独自の催しは感染防止を図りながら実施されていた。 各種催しへの指導者育成においては、村民の現況を踏まえると難しい面もあることから、外部指導者や講師等の活用を図り、コロナ禍を踏まえ各種講座を積極的に取り入れていきたい。 ICTを活用した学習会等についても実施できていない状況となっている。 今後、双葉郡の復興再生を踏まえ、町村間連携による各種講座やイベント等の開催も検討すべきところである。	2

【5－（１）】

重点施策名		事務事業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成		（１）社会教育活動の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①青少年教育の充実 ・健全育成の充実 ・学校、地域社会の連携強化		☆放課後子ども教室の実施 ☆放課後子ども総合プランの策定 ☆子供会活動への支援 ☆地域の子ども教室推進事業の実施 ☆世代間交流事業の実施	④・3・2・1
②成人教育の充実 ・村民の必要課題に応じた教室の開催 ・学習内容、方法の工夫		☆学習講座の開催 ☆各種研修会への参加奨励	4・3・②・1
③女性教育の充実 ・学習体制の充実 ・学習内容、方法の工夫		☆婦人会活動の援助 ☆社会参加活動の促進 ☆支部学級の推進 ☆女性セミナー ☆各種研究会への参加奨励	4・③・2・1
④高齢者教育の充実 ・学習体制の充実		☆学習講座の開設 ☆指導者研修会への参加奨励 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者活用	4・3・②・1
総 合 評 価		4・3・2・1	
成果と課題	青少年教育での取組みにおいては、放課後子ども教室の充実を図り児童の健全育成に取り組んでいる。さらに、令和3年度より新たに導入する「放課後児童クラブ」制度と現行の「放課後子ども教室」制度を同時に開催するために川内村版の「放課後子ども総合プラン」を策定し開設に備えた。 子ども会活動の一環として親子活動でのバーベキューをいわなの郷にて実施した。 成人教育では、コロナ禍もあり、具体的な講座や教室が実施出来なかった。 女性教育においては、婦人会活動への支援や補助交付などを行うが、女性セミナーなどはじめとした活動については、取り組めていない。村婦人会は、村の催事等への協力に欠かせない団体となっているが、一方では組織を支える人材確保が懸念される面もある。 高齢者教育では、村保健福祉課との意見交換を図り、学習講座等の開催に向け協議を行ったが、コロナ禍により実施出来なかった。 また、例年は女性教育と高齢者教育を合同で中央学級として開催してきたが、令和2年度はコロナ禍により実施が出来なかった。 今後は、コロナ禍の中ではあるが、感染予防策を講じながら各種研修会や勉強会に積極的に参加するよう取り組んでいきたい。		3

【5－（2）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(2) 社会教育推進体制の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①社会教育関係職員の確保と資質向上 ・社会教育体制の充実		☆社会教育委員の活動の充実	4・③・2・1
②民間有志指導者の活用 ・指導者の発掘活用		☆指導者研修会への参加奨励 ☆生活文化技術の指導者発掘、活用	4・3・②・1
③社会教育関係団体の育成 ・青少年団体、婦人団体、PTA等組織的活 動の充実		☆社会参加活動の促進 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者の活 用	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成 果 と 課 題	○社会教育体制の充実 例年どおりの社会教育委員会活動は、コロナ禍により実施が出来ていない状況でした。 ○指導者の発掘、活用 指導者の発掘・活用ができておらず、今後の大きな課題となっている。 ○社会教育関係団体の育成 コロナ禍ではあったが、各指導者や各団体での取組みは行われており、それらの活動等に対し補助金を交付している。各大会等への出場機会は減少したものの青少年団体活動でのスポーツ少年団では活動の場も増し、指導者数も増え、活動が活発化してきている。 婦人組織では、天山祭りを始め、敬老会などの各種催しの取組み(準備等)に積極的に取り組んでいる。 保育園・小中学校の保護者等による連合PTA等の活動もコロナ禍ではあったが、保護者間での活動は図られたが、大々的な活動は出来ていない。 村マラソン大会においては、例年ですと小中学生が選手として参加したほか、ボランティア員としても活動し、村の宣伝活動の一助を担ってきたが、コロナ禍によりこの催しも行われていない。		3

【5－（3）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(3) 社会教育施設の整備	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①図書室の整備、充実 ・図書室利用の拡大		☆新刊図書の購入 ☆閲覧スペースの整備	4・③・2・1
②コミセン等施設の利用 ・施設利活用の促進		☆施設の整備、改修 ☆閲覧コーナーの整備	4・3・②・1
③学校施設と社会教育施設の融合 ・学校施設を社会教育施設として活用		☆空き教室を利用して興学塾、放課後子ども総合プラ ン、ピアノ教室、生涯学習等の実施 ☆地域文化伝承教室の設置	4・③・2・1

総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	施設の維持管理面では、新型コロナウイルス感染症対策を施し、来場者への検温や消毒等を推奨し、館内利用者への感染防止の徹底に取り組んだ。 ○コミュニティセンター内に常設している図書室の利用者を増やすため、図書の購入や図書室への入りやすい雰囲気作りを行った。 ○イベント情報や公民館事業を周知するためのチラシ作成や展示を行うなど、村内外への情報伝達に取り組んだ。 ○コミュニティセンターの各室での活動を行い易くするための施設管理に努めた。 ○限られたスペースへの遊具設置や幼児・児童図書を充実させ、来場する子育て世帯などの利用者を増やすよう取り組んだ。 ○村独自に取り組んでいる放課後活動においても、新型コロナウイルス感染症により一時的に活動を中止したものの再開にあたっては、児童生徒への新型コロナウイルス感染症感染防止策を徹底し行った。 ○新規事業として取り組む「地域文化伝承教室」の開設準備のため、ソフト・ハード両面での取り組みを進めた。	3

【5－（４）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成		（４）家庭教育の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①家庭教育充実 ・学習機会の拡充		☆子どもの発達に応じた講座の開催 ☆家庭学習習慣の定着	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	放課後の家庭学習支援の一環として、放課後子ども教室の中で家庭学習の時間帯を設け支援を行っている。 更に学力向上を図るため村直営による学習塾「興学塾」を定期的継続的に開催している。 また、子供の成長期における音楽的な感性を養う場の講座として「ピアノ教室」も開設している。 なお、家庭学習の励行定着に向け、学校教員による保護者への通知面談等が成されている状況である。		3

【6－（１）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
6 芸術文化活動の推進		（１）芸術文化活動の促進	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①芸術文化活動の充実 ・芸術文化活動への支援 ・芸術文化活動の推進		☆芸術文化活動への助成 ☆芸術文化推進団体等の育成、推進 ☆天山祭りの開催 ☆各種コンサートの開催 ☆各種芸能鑑賞会の開催	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	○村内、各行政区における芸術文化推進団体においては、一部休止状態が継続されたままの団体(2団体)もあるが、後継者の育成を図り8団体においては活動を再開している。そのため、継承するために必要な補助申請(立替え)もあり、令和2年度においては3団体に補助金を交付している。 ○令和2年度の天山祭りの開催については、新型コロナウイルス感染症により中止としました。 ○よさこい・カラオケ・フラダンス・大正琴・太極拳などの活動が再開していますが、参加者の増員については難しい状況となっている。これらの活動も、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症により活動が自粛及び縮小されている。 ○各種催しについても、新型コロナウイルス感染症により中止や未開催となっております。		2

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
6 芸術文化活動の推進		(2) 郷土芸能、文化伝承活動の推進	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①郷土芸能、文化財保存継承 ・保存継承の推進		☆保存伝承費助成 ☆文化財防火訓練 ☆平伏沼管理員配置	4・③・2・1
②文化財啓発 ・文化財理解		☆文化財巡り	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	文化財の保存や継承については、無形民俗芸能をはじめとした後継者不足や指導者の高齢化による保存継承が難しい状況となっておりますが、継承団体との話し合いや相談等を行い、継承に向け衣装や用具等の更新費用への補助を行っており、令和2年度においては三匹獅子舞保存会3団体への補助金を交付している。令和2年度の例大祭等での奉納披露については、コロナ禍により中止となった保存会もありました。 例年は文化財保護の観点から地区住民や消防団の協力を得て、防火保護活動を推進していましたが、令和2年度においては、コロナ禍により人の密集を避ける観点もあり中止となっております。 モリアオガエルの産卵期には、平伏沼に管理員を常駐させて管理に努め、来場者対応及び沼や産卵状況の把握に取り組んだ。 今後は、「新しい生活様式」を取り入れながら村民等に対し、村内の文化財等への理解を深めるための活動を行っていきたい。		3

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
7 地域・家庭等連携		(1) 地域・家庭等連携	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①地域連携 ・地域学校協働本部の設置 ・環境づくり ・青少年激励 ・公民館等事業周知 ・読書推進		☆地域学校協働活動推進員配置 ☆花いっぱい運動 ☆区域外就学児童生徒との交流会開催 ☆成人式の開催 ☆広報媒体活用 ☆絵本読み聞かせ ☆移動図書館の活用	4・③・2・1
②家庭等連携 ・子育て学習 ・子育て支援 ・SNS被害防止指導 ・情報モラルの確立		☆思春期の子どもを持つ親の学習 ☆新入学児童の保護者の学習 ☆放課後子ども教室の実施 ☆放課後子ども総合プラン策定 ☆アウトメディア宣言の実践 ☆研修会の開催	4・③・2・1
③男女共同参画社会 ・地域社会への啓発		☆アドバイザー研修参加	4・3・②・1
④体験活動、ボランティア活動支援 ・推進体制の充実		☆地域学校協働活動推進員と各学校の連携	4・③・2・1

総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	○地域連携 地域と学校との連携を深めることや協力体制を整えるために、地域学校協働本部を立上げ活動を進めており、学校への支援体制等を整えている。 公民館事業として、老人会、婦人会、保育園、小中学校の協力を得て、地域等への「花いっぱい運動」を展開した。 コロナ禍ではあったが、コミュニティセンターにおいて成人式を開催し、成人のお祝いを行った。 公民館事業としての催しについては、村広報紙、防災行政無線、公民館内広報掲示スペース等を幅広く活用し事業の周知を図った。 図書充実を図るために移動図書館などから年間2回で800冊程度を借用し、内容の充実に努めた。 ○家庭等連携 子育て支援・学習においては、村保健福祉課との連携を図り、専門的に必要な案件に関しては保健福祉課からの指示を仰ぎ保健福祉課と一体的に取り組んだ。 児童の放課後活動については、平日及び長期休業時においても開設し積極的に取り組んだ。 なお、子育て支援については、令和3年度からの新制度導入に向け事務的に積極的に取り組んだ。 また、携帯電話等からのSNS情報被害防止策の観点からPTAによる「アウトメディア宣言」を発信し、児童生徒の安全確保に努めた。 ○男女共同参画社会 関係機関での会議や集会への参加も出来なかったが、福島県の指導を受けながら男女共同参画推進計画(案)を取りまとめている。 ○体験活動、ボランティア活動支援 小中学校での「ふるさと創造学」に携わる地域連携コーディネーターを配置し、学校活動への支援を行った。 地域内連携、子どもから高齢者までの連携を図り、社会環境の充実を目指しているが、コロナ禍や村民の帰還率も8割程度に止まっていることもあり、帰村促進を含め、今後も粘り強く取り組んでいくことが重要となっている。	3

【8－(1)】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
8 生涯スポーツの推進	(1) スポーツの振興	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①組織の強化 ・組織運営の充実 ・スポーツ少年団の育成	☆体育協会への助成 ☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	4・③・2・1
②生涯スポーツ推進 ・村民皆スポーツの推進 ・スポーツクラブの検討	☆各種大会開催 ☆啓発活動 ☆組織化の検討	4・3・②・1
③競技スポーツ振興 ・スポーツ振興 ・スポーツ団体の育成	☆各種大会参加 ☆川内の郷かえるマラソン大会継続開催 ☆支援体制の充実 ☆スポーツ推進員の養成、確保	4・3・②・1
④施設の整備と利用促進 ・体育施設の整備 ・体育施設の利用促進	☆既存施設の維持管理 ☆体育施設の宣伝と利用案内の周知	4・③・2・1

総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	○組織の強化 例年は、体育協会組織のもとで各種団体が様々な大会に積極的に参加していたが、令和2年度においてはコロナ禍により各種大会の中止や参加人数も減少となり、出場出来ない状況となった。活動回数は減少したものの各団体では、規模等を縮小しながらも活動を行っており、各種競技種目による新型コロナウィルス感染症対策を施し継続しており助成金を交付し活動促進に努めた。 スポーツ少年団育成面では、新型コロナウィルス感染症により野球スポーツ少年団も一時活動を停止していたが、感染症対策を施し活動を再開させ各種大会への出場も徐々に増やした。また、バレーボールのはやぶさスポーツ少年団も感染症対策を施し活動を再開している。 ○生涯スポーツ推進 ソフトバレー教室、グラウンドゴルフ教室、太極拳教室等においても、新型コロナウィルス感染症の感染予防対策を施し実施回数は減少したものの再開しており、その他の教室活動についても、村民の要望を踏まえながら再開に向けた取組みを進めたい。 ○スポーツ振興 競技者が少ない中でも、体育協会を中心に野球、ソフトボール、ソフトテニス、ソフトバレー、グラウンドゴルフ等の各種大会に積極的に参加している状況ではあったが、令和2年度においては新型コロナウィルス感染症により活動の低迷や大会中止により活動が極端に減少した。 令和2年度は、コロナ禍により川内の郷かえるマラソン大会を延期し実施に向け取組んだが、最終的に中止となっている。 室内型温水プール(もりたろうプール)では、新型コロナウィルス感染症により約1ヶ月間休止としたが、年間の利用者は前年と比較すると増員となった。要因としては、村民が活動範囲を制限されたことによりプール利用が高まったことによるものと推測されます。 ○施設の整備と利用促進 スポーツ施設等の管理については、利用者に支障の無いよう積極的に取組んだ。施設利用に当たっては、村ホームページに掲載するとともに必要に応じ防災無線を活用することとした。	3

【8－（2）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8 生涯スポーツの推進		(2) 健康づくりの推進	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○健康づくり普及		☆健康スポーツ教室開催	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	例年は、健康づくり推進事業として、2月に「健康づくりソフトバレーボール大会」を開催していたが、他のスポーツ活動と同様にコロナ禍によりチームの結成が難しく中止となった。 室内型温水プール(もりたろうプール)では、保健福祉課の取組みもあり村民の健康づくり教室への参加者も増え、健康づくりに貢献できた。 令和2年度は、新型コロナウィルス感染症により村民の活動が制限され、スポーツを通じた健康づくり活動が積極的に行えない状況となった。		2

【8－（3）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8 生涯スポーツの推進		(3) 小中学校特設スポーツクラブの育成、振興	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○小中学校特設スポーツクラブ充実		☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	例年は、特設スポーツクラブの実施においては、指導者の発掘や活動内容の充実を図り、学校との連携を図りながら特設スポーツクラブの育成充実に努めていたが、新型コロナウィルス感染症により活動が制限され、思うような活動が出来なかった。		2